



第72号

平成29年3月15日

# スポーツ少年秋田

AKITA JUNIOR SPORTSCLUBS ASSOCIATION

発行／秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916



## 日独同時交流受入を振り返って

大潟村スポーツ少年団 本部長 馬場 晶 寛

7月30日から8月3日にかけて、日独同時交流を目的として、スポーツ少年団9名が来村しました。わざわざ遠いところから、長時間かけて大潟村まで交流を目的に来てくれるという事、そして、今回その迎え入れができるという事は、私にとっても大きな喜びであった半面、初めての経験であり、準備段階から迎え入れ、そして最後の見送りまでの長い期間、神経をすり減らす日々でした。とにかく大潟村を知って貰いたい、ここでしかできない体験をさせてあげたいという思いから、現状考えられるベストの行程を組んだつもりです。とにかく体験や交流を重視し、良い思い出を作って貰うことが私の最も望んだことでした。その中で、ザリガニ釣りや水上スキー等の体験は大潟村ならではのものであり、非常に有意義なものになったと考えております。また、近隣の男鹿市まで足を伸ばし、寒風山から大潟村を見せたことで、その雄大さや他市町村との違いをその目で感じてくれたと思います。最終日のバーベキューは、大潟村でとれたメロンやスイカを大潟村の農家から提供して貰い、たくさん食べて貰う事ができて本当に良かったと思います。

最後に、行程に苦慮した4泊5日でしたが、今回大潟村に来てくれた9名の皆さんには心から「ありがとう」と言いたいです。迎え入れから5日間付き添い、いろいろな話が出来た事で、視野がとても広がった気がします。また、自分たちの住むこの大潟村の良さを再認識することができたと思います。

この度、民泊の受け入れ、果物や野菜の提供、体験等に協力して頂いた大潟村民の方々、また、窓口となり先方のスポーツ少年団との調整にあたって頂いた秋田県スポーツ少年団の方々、受入をするにあたり協力して頂いた大潟村及び教育委員会の方々含め、多くの皆さまからのご協力により、無事交流を終了することができました。本当に心から感謝を申し上げます。

今後も、この日独同時交流が継続され、この事業をきっかけに、双方の関係が深まることを心から期待しております。

今回は本当に貴重な体験の機会を頂きありがとうございました。

# ドイツ団を受け入れて

2016.7/31~8/3  
大潟村

## ドイツスポーツ少年団を受け入れて

岩井 美津子

7月31日から8月3日に我が家に泊まりに来たのはソフィーとアントニアで高校1年生と2年生でした。彼女たちのお姉さんもスポ少の交流で2年前に日本に来たことがあり、持ってきてくれたアルバムにはホームスティした家族と浴衣を着た笑顔のお姉さんが写っていました。

アルバムには家族、自分の住んでいる街、趣味や特技、ペットの写真もあり、会話が弾みました。

ソフィーは体操の他にキックボクシングやロッククライミングをしている活発な女の子です。英語やフランス語を話します。最年少なのに落ち着いていてしゃべっています。菜食と聞いていたので、何を出そうかと考えましたが、初日の夜は回転寿司にしました。写真と英語のメニュー案内があったので、枝豆や茄子を自分で注文していました。

アントニアは体操をしていて笑顔が可愛い明るい女の子、よく食べ、良く動く元気はつらつ娘です。大きな一眼レフのカメラを持ってきました。お父さんがプロのカメラマンだそうです。「新幹線」に乗ってお寿司が運ばれて来たのは初めて見たので大喜びでした。注文した寿司が目の前に届くと写真を撮っていました。ドイツで買った回転寿司は小さいお店だったので、驚いていました。

2日目から4日目の朝食は大潟村産の旬の夏野菜や果物を沢山食べてもらいました。我が家の有機米のあきたこまちのごはんに、義母が育てた有機野菜のオクラやミニトマト、キュウリ、カボチャをサラダや味噌汁に入れて出しました。トウモロコシ、スイカ、メロン等も甘くて美味しかったと喜んでくれました。二人ともお箸の使い方がとても上手でした。

2日目の夕食は天ぷらとソーメン、お好み焼きにしました。ソフィーに合わせて野菜天ぷらにしました。義母が採ってきた新鮮なナスやピーマン、インゲンやカボチャ、オクラ等を揚げました。お好み焼きは娘たちとホットプレートで作ってもらいました。

私が仕事を終わらせてから作ったので8時過ぎてしまい、あまり食べてもらえませんでした。ドイツでは夜に揚げ物は食べない、夕食は軽めにするというのを忘れていました。彼女たちのスリムな体形は早寝、早起き、「ご馳走は昼に食べる」を徹底しているからだと納得しました。体操をしているので体重管理もしっかりしていて、太らないように気を付けているのだと思いました。

うちの娘は高校3年と大学1年で、年も近かったことから、プリクラを撮ったり、一緒になまはげのお面を作ったり、男鹿の観光も同行して、まるで四姉妹のように仲良くなりました。茶道を習っていた長女が抹茶を点ててくれました。浴衣も四枚あったので、好きな色や柄を選んで着てもらいました。お土産には気楽な甚平をあげました。軽くて持って帰るのに良いと思ったからです。桔梗と撫子の花にしました。着方を教えて写真も撮りました。本当に喜んでくれました。最後にお別れす



る時は涙が出ました。

家族四人でいつか必ずドイツに行って、彼女たちに再会しようとして心に誓いました。我が家に来てくれて本当にありがとうございます。私がお飯の用意をしている時、いつも「何かお手伝いすることはありますか」と聞いてくれてありがとうございます。

彼女たちの訪問はたった4日間でしたが、我が家に新鮮で爽やかな風が吹きました。最高の笑顔がたくさんくれた事ずっと忘れません。

主人はお土産に頂いたビールグラスにビールを注ぎ、「よくこんな大きなグラスを持ってきてくれたなあ」と懐かしんでいます。

## 海外交流を振り返って

丹野 あすか

今回の民泊受け入れは2回目で、最初の時から10年ぶりでありました。その時受け入れをした家族の方たちと懐かしい思いで話しに花を咲かせるとともに、今回はどんな子たちが来るのだろうとわくわくしながらのスタートとなりました。

我が家にやって来たのは引率者でありグループ团长を務めるウヴェさんと、グループ内唯一の男子学生であるマックス君です。たくさんドイツからのお土産と一緒に自分たちの家族や住んでいる所の町並み、特産品などを写したアルバムを持って来てくれました。カラフルなペンで1つ1つの写真にイラストや説明文が添えてあり、時間をかけて準備してくれたことが伺えます。荷物として持ってくるのも重かったことでしょう。そのアルバムを頂いたことで、話題の幅がぐんと広がり、心の距離もすぐに縮めることが出来ました。

昼間はスポ少が用意する日程に参加するため、基本的には夕方以降、翌日の朝食を共にする間までの時間が私たち家族との交流する時間となっていました。長距離移動に加え、夏の暑さ、行く先々での異文化体験をこなし、毎日ちょっと疲れた様子での帰宅でしたが、夜は夜でその日新たに見聞きしたものの話しや、将来の夢、好きなことについてや自国でのスポーツ活動についてなど、話しが尽きず就寝時間は大分遅くなってしまいました。ある晩は、茶道の先生のお宅に招待していただき、浴衣を着てお抹茶をごちそうにもなりました。我が家だけでなく、より多くの大潟村の人たちと交流出来たよい機会でしたので、また思い出の1つになったのではないかと思います。毎朝行く予定だったラジオ体操を1回しか参加しませんでした。その分充実した団らんの時間が保てたように思います。

楽しい時間はあっという間に過ぎて、気づけば次の県へ出発する日となっていました。ウヴェさんもマックス君も私も、旅が好きということで話しが盛り上がり、またいつか日本かドイツ、もしくは旅先の別の国でも会えたら最高だね、と言って笑顔でお別れをしました。

「いつでもドイツに遊びに来てください」と言ってもらえたこと、我が家で穫れたご飯が美味しいと毎回3杯おかわりをしてくれたこと、とてもうれしかったです。





# 平成28年度幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会【秋田県会場】 兼第30回秋田県スポーツ少年団指導者研究協議会

期日：平成28年11月13日(日) 会場：秋田市社会福祉会館 参加数：58名

この講習会は、日本体育協会（日本スポーツ少年団）が取り組む「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の効果的な活用法の普及を目指し全国で開催されており、秋田県を含め12会場となる。ACPは県スポーツ少年団の「育成5カ年計画」の取り組み事項であり、今年度の研究協議会も兼ねて行われた。

前半は佐々木玲子氏（慶応義塾大学）による講義で、運動好きになるかどうかは幼児期からの運動経験が影響するなど紹介された。後半は吉田繁敬氏（愛知県スポーツ少年団）と青野博氏（日体協スポーツ科学研究室）を講師に、各種運動遊びの基本パターンからバリエーションの増やし方など実技を学んだ。参加者は「だいこん抜き」や「魚とり」などの馴染み深いゲームからトレーニング要素の多い運動に取り組み、笑いが溢れる中楽しく取り組んだ。スポーツ少年団指導者の他、幼稚園教諭や保育士の参加も多く、今後の広がりが期待される講習会となった。



## 第46回認定員等再研修会（中央会場）

期日：平成28年11月19日(土) 会場：にかほ市金浦公民館 参加数：79名

講師の鳥海良寛先生の講話「うっかりドーピングに気を付けよう」に続き、東京学芸大学准教授の佐藤善人先生より「元気いっぱい遊ぶ子どもを目指して」というテーマで講義と実技指導をいただいた。

「スポーツ少年団では、成績が重視されるが、何歳になってもスポーツを楽しむ子どもを育てるのが理想」、そのためには大人の理論を押し付けず、子どもの好奇心や面白さによる動機を大切に遊びを取り入れた指導をすることが重要ということを確認した。



## 第47回認定員等再研修会（県南会場）

期日：平成28年12月11日(日) 会場：横手市浅舞公民館 参加数：46名

講師には、秋田県スポーツ科学センターの宇都友博氏に、「現場で伝えるスポーツ心理学」～スポーツと安全～を演題にご講演をいただいた。

スポーツの楽しさの上手な伝え方や周囲のコミュニケーションの大切さなど参加者一同再確認できる場となった。また、団活動をする上での、安全指導や心理的サポートについてもご講演いただき、今後の団活動や指導に活用していただける大変貴重な機会となった。



## 第48回認定員等再研修会（県北会場）

期日：平成29年1月29日(日) 会場：能代市二ツ井町庁舎 参加数：63名

スポーツ心理学専門の栗木一博氏（仙台大学）を招き、『スポーツで人間力を高める～体力以外に伸ばすべき能力～』と題し講演が行われた。

「質問力」や「自ら考え、表現し行動する能力」は人間力を高め、トップアスリートにとっても重要な能力であることを、質問ゲームなどを実際に行い理解を深めた。また、世界のトップアスリートや名勝負の事例を挙げ、フェアプレイについて考える機会ともなり、スポーツから多くを学べることを再確認した。



# 秋田県スポーツ少年団リーダー会

各単位団において、子どもたちの気持ちを理解し、指導者と協力して団を育てていく役割を担う団員を「リーダー」と呼びます。また、日本スポーツ少年団では、リーダーの資質と技能の向上をはかり将来のスポーツ少年団指導者に育成することを目的に「リーダーズクール」を実施し、資格の認定を行っています。

## 一年の活動

Q：リーダー会ってなに??

A：県内に登録しているリーダーが集まり、研修や交流をしています。そして、ジュニアリーダーズクールなどのイベントの企画・運営や研究大会などへの参加によってリーダースキルの向上を目指しています。

Q：リーダー会に入る資格は??

A：秋田県は初等教育を終了した者から25歳未満までの団員、指導者としています。



### リーダーの集い

毎年3月には県内各地のスポーツ少年団員と県リーダー会員との交流会「リーダーの集い」が行われます。

「リーダーの集い」ではリーダーが普段どんな活動をしているかを紹介したりアイスブレイキングやレクリエーションで実際に体を動かしたりしています。

普段なかなか会えないリーダーたちのお話のチャンス…!!



4月 総会

6月 研修

8月 秋田県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダーズクール  
日独同時交流  
シニアリーダーズクール

9月 全国リーダー連絡会

10月 北海道・東北ブロックリーダー研究大会

### 北海道・東北ブロックリーダー研究大会

北海道・東北にいるリーダーが集まって2泊3日、研修を行います。各県でどのような活動を行っているのか意見交換をしたり、レクリエーションの実技等をし、みんなでリーダーとしてのスキルを磨きます!

この大会は、県外のリーダーと知り合える行事の1つです。みんなで協力して1つのことをやり遂げることができたときには、充実感があります。大会後も仲良くなったリーダー同士、交流が続いています。

29年度は秋田県で開催します。

秋田県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダーズクール  
2泊3日で行われるジュニアリーダーズクールは、リーダーがこの日のために企画・準備してきたものを出し切る場。団員の子供たちと関わりながら大会の進行や準備をしていきます。楽しいことも大変なこともあります。成功や失敗を繰り返しリーダーとして成長できる場なんです。なにより子供たちがプログラムを楽しんでくれている時、その笑顔が見られるととっても嬉しくなります。



3月 リーダーの集い

私たちリーダーは皆さんの参加を待っています!  
元気・やる気のある方! 楽しいことが好きな方!  
新しい事にチャレンジしたい方! などなど大大大歓迎!  
一緒にリーダー会をつくっていきましょう!

リーダー会について  
詳しく知りたい場合

秋田県スポーツ少年団  
TEL 018-866-3916



「秋田県スポーツ少年団リーダー会編集」



# 第39回競技別交流大会



9/14~15 ラグビー 大潟村ラグビー場 350名



11/26 卓球 秋田県立体育館 462名



1/3~5 ミニバスケット CNAアリーナ 1,100名



1/28~29 スキーアルペン 矢島スキー場 110名



2/25~26 スキージャンプ 花輪スキー場 21名



2/11~12 スキークロスカントリー 田沢湖スキー場 169名



**お弁当の配達承ります。**

会議、研修会、各種スポーツ等

630円より様々な種類のお弁当をご用意しております。

※配達は10個からとさせていただきます。

**歓迎会、送別会**

(ご予算に応じて承ります。)



青少年交流センター  
有限会社 県庁食堂

**レストランユースパル**

秋田市寺内神屋敷3-1  
TEL. 018-880-2310  
FAX. 018-880-2319



**目指せ世界の頂点!**



がんばる  
**ジュニア**  
応援します



あらゆるニーズにお応えする

**髙松原印刷社**

〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29  
TEL 018-862-8760(代)  
FAX 018-863-0005  
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>  
E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp



うれしくて、悔しかった大北大会  
かみこあにスポーツ少年団 ミニバス部 6年 平川 つきみ  
私達ミニバス部は、全県出場という部員15人の目標と練習での1人  
1人の目標をもって、取り組んできました。練習は楽しく、元気にた  
まに、行動がおそいとコーチにおこられる時もありました。

大北大会当日、2試合とも勝つことができ、2日目に残ることがで  
きました。2日目、3位決定戦がありました。これで勝てば、全県出  
場できる試合でした。でも、負けてしまい全  
県出場の目標をかなえることができな  
くしてしまいました。今回の大会は、全県出場できなくて悔  
しか、たけど、初めて2日目に残れてうれ  
しかった心に残る大会でした。

4年間ミニバスで学んだことを生かして中  
学校でもがんばりたいです。コーチ、親のみ  
なさん本当にありがとうございました。



「心を一つに」大好きなバスケット

広面男子ミニバスケットボールスポーツ少年団 6年 長岐 健生  
僕たちのチームは、バスケットが大好きな2年生から6年生、合計  
24人で活動しています。練習は週4日。挨拶、整理整頓、時間を考  
え行動することを大事にしながら、わきあいあいと練習に取り組んで  
います。僕たちはこれまで「仲間を信じて、心を一つに」ということ  
をモットーにプレーしてきました。おかげで今年は東北電力旗秋田県  
大会、秋田市秋季交歓会ともに優勝することができました。最高の仲間に出会えたこと、  
そして一緒にプレーできたことは一生の宝物  
です。また、ここまで育て成長させてくださ  
ったコーチ、親の会の皆さん、応援してくれ  
たすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもこの気持ちを忘れずに、大好き  
なバスケットを楽しんでいきたいです。



汚れ

消しゴムの汚れが目立たず、  
キレイに使えます。

消しゴム モノ PE01 ブラック63円 (本体価格60円)

Tombow

PASTIC ERASER

MONO

Tombow

汚れに強いブラックボディ

消し  
クズ

紙面上の消しクズが  
見やすく、処理が容易です。

消しゴム モノ PE04 ブラック105円 (本体価格100円)

MONO

株式会社トンボ鉛筆  
http://www.tombow.com



# あちらこちら

「みんなで勝ち取る1勝」

ぼく達のチームは、1年生から6年生までの23名で「楽しく練習1勝皆で勝ち取る」を目指し取り組んで、がんばっています。2年前から夏の合宿を取り入れて、コーチや仲間と寝泊まりをしながら気持ち一つにして、厳しい練習を乗り越えています。普段の練習前にはみんなで遊びを交じえながら先輩が後輩にフットサルの基本のドリブルやパスを教えたりしながら、楽しさも教えています。雄勝FCにはまだまだ課題がたくさんありますが、みんなで声をかけ合い納得のいく試合が出来るように一つ一つ集中していきたいと思います。

僕にと、ては、残り少ないスポーツ生活ですが、大好きなフットサルと仲間と共に、十分楽しみたいと思います。

雄勝FC6年管 一真



「仲間と共に・感謝の気持ちを忘れずに」

羽城柔道スポーツ少年団 中2 土肥 大貴

僕たち羽城柔道スポーツ少年団は、団員7名という少人数でそれぞれが目標を持ち日々稽古に励んでいます。ほぼ全員が中学入学と同時に柔道を始めましたが、秋の大会では好成績を残すことができました。この成績を残すことができたのは指導して下さる先生方、応援してくれる地域の方々、家の人たちのおかげです。みんなが一生懸命に向きあってくれるので僕たちも頑張ることが出来ます。

「稽古は相手がいてこそ」僕が日々感じていることです。これからも仲間と共に競い合い、励まし合い、個々の能力を伸ばしていきます。

そして、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れずに稽古に励みます。団員募集中です！



## お客様の「困った」を全力で解決します！

# INEX

-Since 1948-  
株式会社

# アイネックス

<http://www.inecx.co.jp>

パソコン専門店

# COM

- 本社：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- 建築事業部：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- IT事業部：〒010-0041 秋田市広面字鍋沼37
- 能代営業所：〒016-0864 能代市字島小屋3-25
- 大仙営業所：〒014-0047 大仙市大曲須和町2-2-20

- Tel 018-887-5560 Fax 018-835-5666
- Tel 018-836-0330 Fax 018-835-5666
- Tel 018-831-3131 Fax 018-831-2211
- Tel 0185-55-3780 Fax 0185-55-3750
- Tel 0187-62-6630 Fax 0187-62-6610



# 夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

## 「輝け！八郎潟SBC!!」

八郎潟町スポーツ少年団ソフトボールクラブ

指導者 穴戸 亜差美

昨年は、東日本小学生女子ソフトボール大会においてブロック優勝を、東北小学生女子ソフトボール大会において優勝を、それぞれ果たすことができました。全国大会出場こそ逃しましたが、この2つの優勝は団員にとってとても価値のあるものだったと思います。

敗れた全国大会予選もすばらしい熱戦でした。一点が欲しくてアウトを恐れずただ次塁だけを見つめて走ったその気迫のこもった熱いまなざしに、高い目標を掲げチーム一丸となって晴れの日も雨の日も風の日も雪の日も練習を重ねてきた日々への想いと勝利への強い意思を感じ身震いました。

勝つ喜びも負ける悔しさもチームメイトと共に経験し、体だけではなく心も大きく大きく成長しました。そして新チームとなって春の全国大会への切符を手にすることができました。ソフトボールの楽しさをまた私たちに見せつけてください。輝け！八郎潟SBC!!



## 直心是道

能代淳城剣道スポーツ少年団

父母の会 会長 工藤 茂晃

じきしんこれみち  
「直心是道」つまり「道場は心の中にある。どんな場所でも素直な心、ひたむきな心があればいつでもどこでも稽古ができる。」をモットーに私達は日々指導して下さる先生方、団員、そして父母の会が一致団結し稽古に励んでいます。

剣道は武道であり、勝負に勝っても負けても相手に対して敬意を払いお互いを尊重し合います。

最近の社会は目上の人を敬う気持ちなど、縦の繋がりといいものが希薄になっているように思えます。私達は豊かな指導陣のもと、礼節を重んじながら1年生から6年生まで12人の団員が先生方を敬い、仲間たちを大切に、明るく仲良くそしてときに厳しく一所懸命に活動しています。また、各種大会に於いては低学年、高学年とも着実に好成績を残しています。

剣道を通じて侍の心を胸に、将来の人間形成に役立ててくれることを心から願っています。



## スポーツ安全保険



公益財団法人 **スポーツ安全協会 秋田県支部**

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 TEL018-883-0360 電話受付時間 午前8時30分～午後5時  
秋田県スポーツ科学センター内 ((公財)秋田県体育協会内) (土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

スポーツ安全協会 検索

インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。



携帯電話から資料請求ができます。

※「スポーツ少年秋田」は、ホームページ (<http://www.akitaikyoo.or.jp>) でもご覧いただけます。